

第10回科学の甲子園ジュニア全国大会 実技競技②

振り返りレポート

都道府県名	学校名

記入上の注意事項	<p>① 記入は、全国大会の競技終了後をお願いします。</p> <p>② 振り返りレポートの提出は、令和5年1月20日（金）午後5時までです。</p> <p>③ 項目1の目標値と競技結果（淡い緑の欄）は、数値で入力してください。事前課題レポート提出後に目標値を変更した場合は、変更した数値を入力してください。</p> <p>競技結果は、大会当日に結果をメモしておいてください。総合得点は自動計算されます。</p> <p>④ 黄色の欄は、テキストで入力してください。入力欄が足りない場合、行の高さを増やして入力してください。一つのセル内で改行を行う場合、Alt+Enterで行ってください。</p>
-----------------	--

橋の名前	自分たちが製作する橋に「事前課題レポート」で付けた名前(オリジナルな愛称)。
-------------	--

項目1	設定した目標と競技結果の比較・検証	設定した目標と競技結果				
		運搬した荷物の総量 (10g単位で記載)		橋の製作に使用した紙の枚数		総合得点
		目標値(事前課題レポートに記入した値)	競技結果	上質紙	厚口上質紙	
		(g)	(g)	(枚)	(枚)	0
		(g)	(g)	(枚)	(枚)	0
	結果の検証と考察 (良かった点と課題だった点)					
	仮に、もう一度競技にチャレンジする場合、どんな戦略をとりたいか					

項目2	他チームの課題レポートから学んだ点 ※「特に良いと思ったチーム」として、内容面で自分たちが思いつかなかった、かつ有望そうなアイデアを出していると思った1チームを挙げて記載してください。	特に良いと思ったチーム		良いと考えた点
		都道府県	学校名	

項目3	下記を参照し、この競技において発揮が期待される学びの力を十分に発揮できたかについて、自己評価をしてみてください。理由を具体的に記載してください。			
	課題を発見する力			
	期待される姿			
	競技において達成すべき具体的な目標を定め、その目標を達成するために解決すべき課題を具体的に 見極め、試行と見直しを繰り返しながら課題の解決に向けて取り組む ことができている。			
	協動的に問題を解決する力			
	期待される姿			
	目標の達成のための計画や方法をチームのメンバー一人一人が主体的に考え、お互いの考えを出し合うことを通して、 全員がチームの戦略について自分なりの理解と納得 をもって取組を進めている。			
	科学的に探究する力			
	期待される姿			
	自分たちの取組の 目標、現状、課題を常に意識しながら、科学（仮説（モデル）の構築と検証）や数学（計算、シミュレーション等）の方法を活用し、取組の適切さを論理的・客観的に評価 することにより、アイデアを転換したり改善したりしている。			
	技術的に創意工夫する力			
	期待される姿			
与えられた条件下で自分たちのアイデアを高い精度で実現するために、 自分たちの特性に応じて作業や手順を工夫し、効率的に遂行 ができている。その際、 社会で活用されている技術等に目を向けながら工夫のヒントを探 そうとしている。				